

1. コミュニティ単位における活動

a. 土嚢による路地修復・下水改善研修



(研修前)

サウスランズのごみ収集所。住民が、無造作にゴミを捨て、ゴミ収集システムが機能していないため、収集所には、常にゴミが山積み状態。



(研修中)

土嚢による路地修復の研修を開始したところ、住民、特に若者グループが積極的にゴミ処理を開始した。



(研修後)

ゴミ処理を行った後に、土嚢路地修復作業の一環として、土砂などにより、整地を行い、著しい衛生状況の改善が見られた。今後のゴミ処理の方法なども、住民の間で話し合われた。



(研修中)

コミュニティ内路地。雨季にはかなりぬかるみ、水衛生状況が悪化する部分。土嚢により路地の強化を行っている。



(研修後)

土嚢により路地を修復し、道の両脇に溝を形成。また、家屋に汚水が流入しそうな部分には、下水管の挿入。
次回の雨季に再評価を行い、補正する予定。



研修後の集合写真。

今回の研修で講師を務めた協力団体「道普請人 (CORE)」のスタッフ、コミュニティ住民およびチャイルドドクタースタッフ。

b. 成功例訪問研修



マサイ族が中心であるマガディ地域のコミュニティを訪問した。研修参加者をマガディCUのメンバーが出迎えてくれている。



マサイ族の文化を考慮した上での健康問題の対策を行うCUの活動の説明を、興味深く聞き入る研修参加者たち。



管轄保健医療施設において、CHWが保健教育を行う。壁絵などを使いわかりやすい方法が説明された。

2. 管轄保健医療施設の活動

a. アウトリーチ活動



CC/UPにおけるアウトリーチ。ナイロビウエスト刑務所ディスペンサリーおよび、当団体クリニックスタッフが中心となって、コミュニティにおいて住民への診療を行う。

小児の体重測定は栄養状態の把握に重要。



医師による診療風景。



診察の後は、薬局にて薬をもらって帰る。

3. シティコットン強制撤去



2013年5月10日未明、CC/UPスラムの一部の家屋が強制撤去にあった。これは、もともとの土地所有者である、私立学校によるものとの見方が強いが、事実を確認中。事前の予告も一切なかったため、住民は行き場を失い、路頭に迷った。



家屋の破壊のため、トタンや木材などにより怪我人が続出。チャイルドドクタークリニックでは、移動診療を行い、怪我の処置などを行った。



2週間後の地域の様子。
この一画は跡形もなく、家屋が破壊され、平地となってしまった。